

6年1組
野表美香さん



※ワニの形を切りぬいて飾りにしました。ワニのギザギザを切るのに苦労しました。エプロンの周りのミシンがけに、気をつけました。

『エプロン』



3年1組
大木友恵さん

※たて画の書き方に気をつけて書きました。まあまあよかったです。

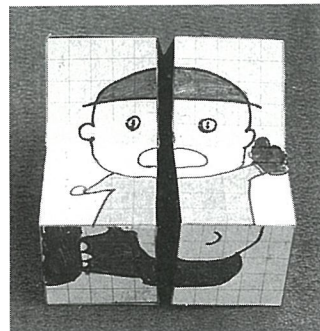
小三友恵
木



5年1組
伊橋幸恵さん

※県民の日書道展の作品です。手本をよく見て、はね、とめに気をつけて書きました。

小五 伊橋幸恵
や思い
りい



『もようの変わる
ふしぎな箱』



4年1組
錦郡絵美さん

※絵は、お気に入りの下じきの「ターボー」を見ながら描きました。意外と簡単でした。

ひかり俳壇

鈴木 都根 (橋場)
平凡という倅せや茄子の花
俳句のツボを心得た非凡な作だが「糟糠の妻を自負して梅漬ける」に一歩譲る。

布施 和代 (二又)
夏近き朝の牛乳噛みて飲む
瑞々しい新緑とコップに満された牛乳が涼感と呼ぶ。下五が一句を生かしている。

土屋 好 (虫生)
梅雨晴間父の病状今日は良く
梅雨晴れに蘇生の思いがする作者、病床にある父への情愛が座五に滲み出ている。

伊藤 定男 (尾垂)
立葵親を追越す子の背丈
日常誰れもが感じている事でも、こう詠まれると改めて共感を呼ぶ。

土屋 義昭 (虫生)
夕闇の山に向いてビール飲む
「山に向って」と口語体に統一するか「ビール飲む夕闇の山真向ふに」としたい

「短評」 椎名しげる